

感覚運動医学講座／皮膚科学領域 附属病院／皮膚科

1. 領域構成教職員・在職期間

教授	長谷川 稔	平成25年6月－
講師	徳力 篤	平成19年12月－（平成26年4月－現職）
助教	井戸 英樹	平成16年8月－平成17年9月、平成20年10月
助教	高嶋 渉	平成17年4月－平成18年7月、平成23年4月－
助教	飯野 志郎	平成18年10月－平成18年12月、平成24年4月
助教	知野 剛直	平成26年4月－

2. 研究概要

研究概要

1) 全身性強皮症の新規治療法の開発

炎症、線維化、血管障害を特徴とする全身性強皮症は膠原病のひとつであるが、いまだ良い治療法が確立されていない。このため、強皮症の動物モデルを用いて新規治療の探索を行っている。

・ケモカインを標的とした抗体治療

プレオマイシンの連日皮下注射により誘導される強皮症のモデルマウスにおいて、マクロファージなどの遊走に作用するケモカインであるCX3CL1を阻害するモノクローナル抗体の腹腔内注射による治療効果を検討している。本年度の研究において、この抗体治療が皮膚の炎症や線維化を抑制することがこれまでの検討で明らかとなり、その作用機序を解析している。抗体治療によってCX3CL1の受容体であるCX3CR1を発現したマクロファージなどの皮膚浸潤が著明に抑制されることがわかってきた。抗CX3CL1抗体は現在関節リウマチ患者などの臨床試験が進行しており、将来的には実際の強皮症患者の治療に発展させることを目指している。

・新規化合物を用いた治療

共同研究者らが開発したTGF- β -Smadシグナルを抑制する新規化合物HPH-15の強皮症治療への有用性を検討している。プレオマイシン誘導性の強皮症のモデルマウスにHPH-15を連日経口投与すると、皮膚の炎症や線維化が抑制され、問題となる副作用もみられないことがこれまでの検討でわかった。また、その作用機序について、in vitroとin vivoの両面から解析を進めている。

2) 表皮に発現する蛋白デルモカインの役割の検討

乾癬やアトピー性皮膚炎などの炎症性皮膚疾患の患者病変部皮膚においては、正常な皮膚に比べて表皮上層に恒常的に発現するデルモカインの発現が増強していることを報告してきた。また、in vitroではデルモカインが表皮細胞の活性化や増殖を抑制する作用を認めている。しかし、in vivoでの役割はよくわかっていないために、遺伝子欠損マウスを作成することにした。

・デルモカイン欠損マウスの作成

最近我々はデルモカイン欠損マウスを作成したため、現在その表現型の解析を行っている。これまでの検討で、デルモカインの欠損により、生後10日間程度、皮膚の角化、かさつきがみられている。デルモカインは正常な角化に必要と考えられるが、その後症状が消失する理由としては、他の物質による代償機能が考えられる。角化やバリア機能に重要な他の分子との関わりも含めて現在その役割を詳しく解析している。

・デルモカインの皮膚疾患における役割の検討

上記のデルモカイン欠損マウスにイミキドを外用して乾癬を誘導すると、野生型マウスに比べて乾癬が著明に悪化することが明らかとなった。その機序としては、免疫組織染色、フローサイトメトリーなどを用いた解析により、デルモカインが好中球やIL-17A産生性の $\gamma\delta$ T細胞の浸潤を抑制している可能性が示唆されている。今後は、アトピー性皮膚炎などの他の皮膚疾患におけるデルモカインの役割についても検討していく予定である。

いずれの研究も順調に進んでおり、新たなプロジェクトも立ち上げている。The 41st Annual Meeting of the Japanese Society for Investigative Dermatologyにおいて、2題が口頭発表に選ばれ、そのうち1題はplenary sessionでの発表に採択された。

キーワード

強皮症、乾癬、アトピー性皮膚炎、ケモカイン、新規治療

業績年の進捗状況

いずれの研究も順調に進んでおり、新たなプロジェクトも立ち上げている。The 41st Annual of the Japanese Society for Investigative Dermatologyにおいて、2題が口頭発表に選ばれ、そのうち1題はplenary sessionでの発表に採択された。

特色等

当教室では、膠原病のひとつである炎症、線維化、血管障害を特徴とする全身性強皮症を専門として力を入れて診療している。しかしながら、本疾患は膠原病の中でも最も治療反応性が悪く、いまだ治療法が確立されていない。このため、新規治療を開発すべく、2つのアプローチを行っている。ひとつは、マクロファージなどの組織への細胞浸潤を誘導するケモカインのひとつであるCX3CL1を抑制する抗体治療であり、もうひとつは線維化に重要なTGF- β のシグナルを抑制する新規化合物の内服治療である。強皮症のモデルマウスにこれらの薬剤を投与し、炎症、線維化、血管障害などを抑制する効果が確認され、問題となる副作用はみられていない。いずれの薬剤も市販されていないものであり、どこでもできる研究ではない。将来的には、これらの薬剤を実際の強皮症患者や他の炎症性疾患や線維化疾患に投与する臨床試験へと発展させたい。また、薬剤の作用機序を検討する中で、強皮症の病態を明らかにする手がかりが得られるものと信じている。実際に、現在検討している強皮症のマウスモデルにおいて、早期の炎症期にはLy6Chiの炎症性マクロファージの皮膚への浸潤がみられ、後期の線維化の時期には線維化に関するサイトカインを産生するM2マクロファージの浸潤がみられることがわかってきている。さらに詳細な機序について解析を進めている。

もうひとつの研究の大きな柱は、表皮に発現する蛋白デルモカインの役割の解明である。この蛋白は表皮の顆粒層に発現し、角化やバリア機能の他、炎症の抑制などに作用する可能性がこれまでの検討からわかってきている。しかし、その役割をより明らかにするために我々はデルモカインの欠損マウスを作成して、その表現型を解析している。このマウスでは生後10日間ほど、魚鱗癬のようなかさかさの皮膚を呈し、魚鱗癬のモデルとして有用な可能性がある。また、そのような角化異常がデルモカインがないことでなぜ生じるのか、他の角化に関わる分子との関連も含めて解析を進めている。このように、本研究は皮膚の角化やバリア機能の解明に結びつく点で皮膚科学で重要な意味を持つ。そして、独自に作成した遺伝子欠損マウスを用いた解析であり、非常に独創性の高い研究といえる。

このマウスでは、その後の成長とともに皮膚の性状は異常がみられなくなってくる。しかしながら、このマウスに代表的な皮膚炎症性疾患である乾癬モデルを誘導すると野生型マウスに比べて劇的な悪化がみられる。その機序として、デルモカインが好中球やIL-17A産生性の $\gamma\delta$ T細胞の浸潤を抑制している可能性がこれまでの検討で示されている。このように、デルモカインは角化やバリア機能異常のみならず、免疫担当細胞にも作用してある種の炎症の抑制に作用しているものと考えられ、皮膚炎症性疾患におけるバリア機能と免疫異常とのクロストークの解明の一助になるとと思われる。そして、デルモカインの発現を促進するような治療が、将来的に実際の乾癬患者に有用となる可能性を秘めており、臨床的な意義も大きい。

本学の理念との関係

当教室では世界的水準での免疫学的な研究を推進しており、これらの研究成果は皮膚科学やリウマチ学の国際的なトップジャーナルに掲載されることを目標としている。また、これらの研究を通して、地域、国、国際社会に貢献できる研究者の育成を行っている。いずれの研究も、市販されていない治療薬や遺伝子欠損マウスを用いた独創性の高いものであり、難治性の皮膚疾患やリウマチ疾患における最新治療の開発に結びつく最先端の医学研究である。これらのことから、当教室での研究内容は本学の理念によく合致したものであり、その意義は大きいと考える。

3. 研究実績

区分		2015年分	インパクトファクター（うち原著のみ）
和文原著論文		4	2.046 (0)
	ファーストオーサー	2	2.046 (0)
英文論文	コレスポンディングオーサー	2	13.299 (13.299)
	その他	3	15.345 (13.299)
	合計	7	

(A) 著書・論文等

(1) 英文：著書等

a. 著書

b. 著書 (分担執筆)

1533001 Hasegawa M.: Biomarker.: Edited by Takehara K, Fujimoto M, Kuwana M.: Systemic Sclerosis:Recent Advance in Basic and Translational Research., SpringerJapan, 211-229, 2015

c. 編集・編集・監修

(2) 英文：論文等

a. 原著論文 (審査有)

1533002 Matsushita T, Hamaguchi Y, Hasegawa M, Takehara K, Fujimoto M.: Decreased levels of regulatory B cells in patients with systemic sclerosis: association with autoantibody production and disease activity., Rheumatology(Oxford)., 55(2), 263-267, 201602, #4.227

1533003 Hamaguchi Y, Kodera M, Matsushita T, Hasegawa M, Inaba Y, Usuda T, Kuwana M, Takehara K, Fujimoto M.: Clinical and Immunologic Predictors of Scleroderma Renal Crisis in Japanese Systemic Sclerosis Patients With Anti-RNA Polymerase III Autoantibodies, Arthritis & Rheumatology, 67(4), 1045-1052, 201504, #7.764

1533004 Elman SA, Nyberg F, Furukawa F, Goodfield M, Hasegawa M, Marinovic B, Szepletowski J, Dutz J, Werth VP, Merola JF.: Developing classification criteria for discoid lupus erythematosus: an update from the World Congress of Dermatology 2015 meeting, International Journal of Women's Dermatology, 2(2), 44-45, 2016, #1.308

b. 原著論文 (審査無)

c. 原著論文 (総説)

1533005 Hasegawa M.: Biomarkers in systemic sclerosis: their potential to predict clinical courses., J Dermatol., 43(1), 29-38, 201601, #2.046

1533006 Hasegawa M.: Use of dermoscopy in the evaluation of connective tissue diseases., Dermatol Clin Res., 1(3), 41-48, 201510

d. その他研究等実績 (報告書を含む)

e. 国際会議論文

(3) 和文：著書等

a. 著書

b. 著書 (分担執筆)

1533007 徳力 篤, 長谷川 稔: 皮膚科医が使いこなす免疫抑制薬: 宮地良樹, 鶴田大輔: Dermatology Year Book 2016-2017 WHAT'S NEW in 皮膚科学 2016-2017, メディカルレビュー社, 198-99, 2016

1533008 長谷川 稔: 強皮症に適応はあるのか?: 宮地良樹: 皮膚科頻用薬のコツと落とし穴, 文光堂, 180-181, 2016

1533009 長谷川 稔: 全身性強皮症: 宮地良樹: 皮膚疾患 ベスト治療 臨床決断の戦略・エビデンス, 秀潤社, 63-69, 2016

1533010 長谷川 稔: 皮膚病変のマクロとミクロ、皮膚からみたその病態は?: 山岡邦宏, 五野貴久, 三森経世, 桑名正隆: リウマチ・膠原病診療ハイグレード リウマチ・膠原病の合併症や諸問題を解く, 文光堂, 84-91, 2015

c. 編集・編集・監修

(4) 和文：論文等

a. 原著論文 (審査有)

1533011 山口 由佳, 飯野 志郎, 馬場 夏希, 知野 剛直, 徳力 篤, 長谷川 稔.: 高齢者に発症し、放射線治療が著効した眼瞼脂腺癌の2例, Skin Cancer., 30(3), 193-196, 2015

1533012 知野 剛直, 尾山 徳孝, 徳力 篤, 新熊 悟, 清水 宏, 長谷川 稔.: 手の皮膚病(臨床例)⑩ 孤発性単純型表皮水疱症, 皮膚病診療., 37(11), 1085-1088, 201511

1533013 高嶋 渉, 長谷川 稔: 皮膚硬化型GVHD., Visual Dermatology., 15(1), 50-51, 201512

1533014 清原 隆宏, 丸田 直樹, 長谷川 稔: CPC clinicopathological conference143, Visual Dermatology., 14(9), 1096-1099, 201508

b. 原著論文 (審査無)

c. 総説

1533015 長谷川 稔: 膠原病による皮膚病変、成人病と生活習慣病(増大号), 46(1), 34-40, 201601

1533016 長谷川 稔: 皮膚筋炎の肺病変、皮膚病診療, 37(6), 529-534, 201506

d. その他研究等実績 (報告書を含む)

1533017 長谷川 稔, Vu Huy Luong, 知野 剛直, 徳力 篤, 尾山 徳孝, 小倉 大, 丹羽 眞一郎, 藤田 美歌子, 岡本 良成, 大塚 雅巳, 伊 浩信: 革新的医薬品開発プロジェクト 新規化合物HPH-15の強皮症マウスモデルでの有用性の検討, 厚生労働科学研究委託費 難治性疾患等政策研究事業 強皮症の病態解明および革新的医薬品開発の研究 平成27年度総括・分担研究報告書, 306-311, 201603

1533018 長谷川 稔, Vu Huy Luong, 知野 剛直, 徳力 篤, 久保田 良和, 小原 隆, 待永 明仁, 小笠原 秀晃, 尾山 徳孝, 池田 わたる, 今井 俊夫, 伊 浩信: 革新的医薬品開発プロジェクト 強皮症マウスモデルにおける抗CX3CL1抗体治療の有用性の検討, 厚生労働科学研究委託費 難治性疾患等政策研究事業 強皮症の病態解明および革新的医薬品開発の研究 平成27年度総括・分担研究報告書, 315-330, 201603

1533019 長谷川 稔: 皮膚科診療の醍醐味, 皮膚病診療, 37(5), 509-509, 201505

1533020 長谷川 稔, 浅野 善英, 石川 治, 神人 正寿, 竹原 和彦, 藤本 学, 山本 俊幸, 佐藤 伸一, 牧野 貴充, 伊 浩信: 硬化性萎縮性利苔癬, 厚生労働科学研究委託費 難治性疾患等政策研究事業 強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドライン作成事業 平成27年度総括・分担研究報告書, 176-188, 201603

1533021 石川 治, 浅野 善英, 神人 正寿, 竹原 和彦, 長谷川 稔, 藤本 学, 山本 俊幸, 佐藤 伸一, 茂木 精一郎, 伊 浩信: 硬化性萎縮性利苔癬 診断基準・重症度分類, 厚生労働科学研究委託費 難治性疾患等政策研究事業 強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドライン作成事業 平成27年度総括・分担研究報告書, 171-175, 201603

1533022 神人 正寿, 浅野 善英, 石川 治, 竹原 和彦, 長谷川 稔, 藤本 学, 山本 俊幸, 佐藤 伸一, 伊 浩信: 好酸球性筋膜炎の診療ガイドライン作成, 厚生労働科学研究委託費 難治性疾患等政策研究事業 強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドライン作成事業 平成27年度総括・分担研究報告書, 150-170, 201603

業績一覧

- 1533023** 山本 俊幸, 浅野 善英, 石川 治, 神人 正寿, 竹原 和彦, 長谷川 稔, 藤本 学, 佐藤 伸一, 尹 浩信: 好酸球形筋膜炎の診断基準および重症度分類の作成に向けて, 厚生労働科学研究委託費 難治性疾患等政策研究事業 強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドライン作成事業 平成27年度総括・分担研究報告書, 148-149, 201603
- 1533024** 浅野 善英, 石川 治, 神人 正寿, 竹原 和彦, 長谷川 稔, 藤本 学, 山本 俊幸, 佐藤 伸一, 尹 浩信: 限局性強皮症C0, 厚生労働科学研究委託費 難治性疾患等政策研究事業 強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドライン作成事業 平成27年度総括・分担研究報告書, 81-147, 201603
- 1533025** 藤本 学, 浅野 善英, 石川 治, 神人 正寿, 竹原 和彦, 長谷川 稔, 山本 俊幸, 佐藤 伸一, 沖山 奈緒子, 渡辺 玲, 尹 浩信: 限局性強皮症の診断基準案作成と重症度基準案の作成, 厚生労働科学研究委託費 難治性疾患等政策研究事業 強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドライン作成事業 平成27年度総括・分担研究報告書, 77-80, 201603
- 1533026** 尹 浩信, 浅野 善英, 石川 治, 川口 鎮司, 桑名 正隆, 後藤 大輔, 神人 正寿, 竹原 和彦, 長谷川 稔, 波多野 将, 藤本 学, 山本 俊幸, 麦 井直樹, 佐藤 伸一: 強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドライン作成, 厚生労働科学研究委託費 難治性疾患等政策研究事業 強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドライン作成事業 平成27年度総括・分担研究報告書, 3-10, 201603
- 1533027** 大塚 雅巳, 長谷川 稔, 藤田 美歌子, 岡本 良成, 小倉 大, 丹羽 眞一郎, 尹 浩信: 革新的医薬品開発プロジェクト 抗線維化活性をもつ人口化合物の創製研究, 厚生労働科学研究委託費 難治性疾患等政策研究事業 強皮症の病態解明および革新的医薬品開発の研究 平成27年度総括・分担研究報告書, 331-334, 201603
- 1533028** 長谷川 稔: 抗リン脂質抗体と関連した皮膚病変, 第2回学術集会 日本抗リン脂質抗体標準化ワークショップ 記録集 vol.2, 4-17, 2015
- 1533029** 長谷川 稔: 私のインシデント・ノート102 駆け出しのころに経験した印象深い患者さん, 明日を創る医療総誌 Medical Doctor, 142, 201511
- 1533030** 長谷川 稔, 石黒 直子: 教育講演33 皮膚筋炎の新たなステージ ~今描く未来予想図~, 第114回日本皮膚科学会総会記念誌Derma Dream 2015年5月29~31日, 136-139, 2015
- 1533031** 長谷川 稔: 羅針盤 膠原病診療における皮膚科医の役割, Visual Dermatology, 15(1), 1, 201512
- 1533032** 山本 和彦, 瀧澤 達也, 竹内 勤, 田中 良哉, 三森 明夫, 山田 亮, 天野 浩文, 石井 智徳, 高崎 芳成, 奥 健志, 近藤 裕也, 湯澤 由紀夫, 武井 修治, 川人 豊, 桑名 正隆, 田村 直人, 新納 宏昭, 村島 温子, 森 雅亮, 保田 晋助, 横川 直人, 和田 隆志, 佐藤 伸一, 長谷川 稔, 杉浦 真弓, 森 臨太郎: 全身性エリテマトーデスの診療ガイドライン作成に関する研究, 厚生労働科学研究補助金難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患政策研究事業)自己免疫疾患に関する調査研究平成27年度総括・分担研究報告書, 7-17, 201603
- 1533033** 寺尾 知可史, 川口 鎮司, 桑名 正隆, 岡 晃, 長谷川 稔, 藤本 学, 石川 治, 山本 俊幸, 後藤 大輔, 浅野 善英, 神人 正寿, 佐藤 伸一, 竹原 和彦, 高橋 裕樹, 土屋 尚之, 川崎 綾, 古川 宏, 當間 重人, 遠藤 平仁, 柳田 英寿, 鮎澤 菜穂, 堀田 哲也, 大村 浩一郎, 吉藤 元, 松田 文彦, 三森 経世, Yannick Allanore, 尹 浩信: GWASプロジェクト 日本人・ヨーロッパ人における強皮症GWAS国際メタ解析, 厚生労働科学研究委託費 難治性疾患等政策研究事業強皮症の病態解明および革新的医薬品開発の研究 平成27年度総括・分担研究報告書, 98-101, 201603
- 1533034** 岡 晃, 浅野 善英, 石川 治, 川口 鎮司, 桑名 正隆, 後藤 大輔, 佐藤 伸一, 神人 正寿, 竹原 和彦, 長谷川 稔, 藤本 学, 山本 俊幸, 尹 浩信: GWASプロジェクト 全身性強皮症原因変異の遺伝学的探索, 厚生労働科学研究委託費 難治性疾患等政策研究事業 強皮症の病態解明および革新的医薬品開発の研究 平成27年度総括・分担研究報告書, 94-97, 201603
- 1533035** 土屋 尚之, 長谷川 稔, 藤本 学, 佐藤 伸一, 竹原 和彦, 八谷 有紀, 川崎 綾, 松下 貴史, 住田 孝之, 當間 重人, 古川 宏, 尹 浩信: GWASプロジェクト 日本人集団における全身性強皮症と免疫グロブリン様受容体LILRA3, LILRA2およびそのリガンドHLA-G多型の関連研究, 厚生労働科学研究委託費 難治性疾患等政策研究事業 強皮症の病態解明および革新的医薬品開発の研究 平成27年度総括・分担研究報告書, 102-109, 201603
- 1533036** 竹原 和彦, 藤本 学, 長谷川 稔, 松下 貴史, 濱口 儒人, 尹 浩信: その他の病因・病態解明プロジェクト 全身性強皮症における制御性B細胞の発現異常とその意義についての検討, 厚生労働科学研究委託費 難治性疾患等政策研究事業 強皮症の病態解明および革新的医薬品開発の研究 平成27年度総括・分担研究報告書, 110-116
- 1533037** 桑名 正隆, 長谷川 稔, 石川 治, 後藤 大輔, 佐藤 伸一, 川口 鎮司, 竹原 和彦, 白井 悠一郎, 遠藤 平仁, 小川 文秀, 尹 浩信: 強皮症の活動性・予後予測因子の抽出 びまん性皮膚硬化型全身性強皮症における皮膚硬化の進行を予測する因子の同定, 厚生労働科学研究委託費 難治性疾患等政策研究事業 強皮症の病態解明および革新的医薬品開発の研究 平成27年度総括・分担研究報告書, 210-216, 201603
- e. 国際会議論文**
- (B) 学会発表等
- (1) 国際学会
- a. 招待・特別講演等
- b. シンポジスト・パネリスト等
- c. 一般講演(口演)
- 1533038** Tokuriki A, Chino T, Vu H, Luong, Oyama N, Higashi K, Saito K, Hasegawa M.: Dermokine β/γ deficiency enhances imiquimod-induced psoriasis-like inflammation., The 40th Annual Meeting of the Japanese Society for Investigative Dermatology, Okayama, 201512
- 1533039** Vu H, Luong, Chino T, Tokuriki A, Oyama N, Hasegawa M, Kuboi Y, Obara T, Yasuda N, Muramoto K, Imai T.: Anti-CX3CL1 monoclonal antibody: a promising therapy for systemic sclerosis., The 40th Annual Meeting of the Japanese Society for Investigative Dermatology, Okayama, 201512
- 1533040** Matsushita T, Hamaguchi Y, Hasegawa M, Fujimoto M, Takehara K.: Decreased Levels of Regulatory B cells in Patients with Systemic Sclerosis: Association with autoantibody production and disease activity., The 40th Annual Meeting of the Japanese Society for Investigative Dermatology, Okayama, 201512
- d. 一般講演(ポスター)
- 1533041** Tokuriki A, Chino T, Vu H, Luong, Oyama N, Higashi K, Saito K, Hasegawa M.: Dermokine β/γ deficiency enhances imiquimod-induced psoriasis-like inflammation., The 40th Annual Meeting of the Japanese Society for Investigative Dermatology, Okayama, 201512
- 1533042** Vu H, Luong, Chino T, Tokuriki A, Oyama N, Hasegawa M, Kuboi Y, Obara T, Yasuda N, Muramoto K, Imai T.: Anti-CX3CL1 monoclonal antibody: a promising therapy for systemic sclerosis., The 40th Annual Meeting of the Japanese Society for Investigative Dermatology, Okayama, 201512
- e. 一般講演
- f. その他
- 1533043** Hasegawa M: New aspects of autoantibodies in collagen diseases., The 40th Annual Meeting of the Japanese Society for Investigative Dermatology, Okayama, 20151209
- (2) 国内学会(全国レベル)
- a. 招待・特別講演等
- 1533044** 長谷川 稔: 進化する、全身性強皮症の診断・治療, 第66回日本皮膚科学会中部支部学術大会, 神戸市, 201510, 抄録集, 60, 201510
- 1533045** 長谷川 稔: 膠原病-皮膚科医はこのように診断する-, 第25日日本小児リウマチ学会総会・学術集会, 金沢市, 201510, 抄録集, 41
- 1533046** 長谷川 稔: 全身性強皮症:血管病変を中心に, 第114回日本皮膚科学会総会, 横浜市, 201505, 抄録, 727, 201505
- 1533047** 藤田 英樹, 井上 雄二, 長谷川 稔, レバウアーアンドレ, 新谷 洋一, 辻田 淳, 茂木 精一郎, 加納 宏行, 金子 栄: 創傷・褥瘡・熱傷ガイドライン 創傷一般~ガイドライン改訂版の概要, 第114回日本皮膚科学会総会, 横浜市, 201505, 抄録, 762, 201505

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演(口演)

- 1533048** 井戸 英樹, 笠松 宏至, 小泉 遼, 飯野 志郎, 徳力 篤, 長谷川 稔, 早川 幸紀: 長期罹患後に手術療法が奏効したリポイド類壊死症の1例, 第66回日本皮膚科学会中部支部学術大会, 神戸市, 201510, 抄録集, 141, 201510
- 1533049** 小泉 遼, 徳力 篤, 井戸 英樹, 長谷川 稔, 犬飼 智雄: セルトレズマブペゴル投与中に膿疱性乾癬様の症状を呈した1例, 第30回日本乾癬学会学術大会, 名古屋市, 201509, 抄録集, 298
- 1533050** 高嶋 渉, 知野 剛直, 徳力 篤, 尾山 徳孝, 長谷川 稔: 自己免疫性水疱性との鑑別を要した水疱性ループスエリテマトーデスの1例, 第39回皮膚脈管・膠原病研究会, 高知市, 201601, 抄録集, 47
- 1533051** 高嶋 渉, 宮永 美紀, 徳力 篤, 尾山 徳孝, 長谷川 稔, 新家 裕朗, 酒巻 一平, 山内 高弘: 白血病の経過中に発症した壊疽性膿皮症の1例, 第66回日本皮膚科学会中部支部学術大会, 神戸市, 201510, 抄録集, 139, 291510
- 1533052** 飯野 志郎, 馬場 夏希, 高嶋 渉, 長谷川 稔, 小畑 友里江: 救命しえたToxic shock-like syndromeの2例, 第30回日本皮膚外科学会総会, 西宮市, 201510, 抄録集, 198, 201510
- 1533053** 馬場 夏希, 宇都 宮 慧, 飯野 志郎, 徳力 篤, 長谷川 稔, 成田 憲彦: 頭頂部悪性黒色腫の1例, 第66回日本皮膚科学会中部支部学術大会, 神戸市, 201510, 抄録集, 129, 201510
- 1533054** 山口 由佳, 馬場 夏希, 知野 剛直, 飯野 志郎, 徳力 篤, 長谷川 稔: 高齢者に発症し放射線治療が著効した眼瞼脂腺腫の2例, 第31回日本皮膚科悪性腫瘍学会学術大会, 大阪市, 201507, 抄録集, 168, 201507
- 1533055** 飯野 志郎, 馬場 夏希, 加藤 卓浩, 知野 剛直, 徳力 篤, 長谷川 稔, 大越 忠和, 石黒 和守: 病巣内に棘細胞癌が併発した体幹Merkel細胞癌の1例, 第31回日本皮膚科悪性腫瘍学会学術大会, 大阪市, 201507, 抄録集, 161, 201507
- 1533056** Vu H. Luong, 知野 剛直, 徳力 篤, 長谷川 稔, 尾山 徳孝, 久保田 良和, 小原 隆, 待永 明仁, 小笠原 秀晃, 池田 わたる, 今井 俊夫: Anti-CX3CL1 monoclonal antibody therapy for systemic sclerosis mouse models., 厚生労働省「強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドライン作成事業」研究班2015年度班会議・厚生労働省「強皮症の病態解明および革新的医薬品開発の研究」研究班2015年度班会議・第19回強皮症研究会議 合同会議, 東京都, 201601
- 1533057** Vu H. Luong, 知野 剛直, 徳力 篤, 長谷川 稔, 尾山 徳孝, 藤田 美歌子, 岡本 良成, 大塚 雅巳, 尹 浩信: A novel small compound that antagonizes TGF β /Smad signaling ameliorates bleomycin-induced skin fibrosis., 厚生労働省「強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドライン作成事業」研究班2015年度班会議・厚生労働省「強皮症の病態解明および革新的医薬品開発の研究」研究班2015年度班会議・第19回強皮症研究会議 合同会議, 東京都, 201601

d. 一般講演(ポスター)

- 1533058** 徳力 篤, 馬場 夏希, 井戸 英樹, 瀧原 祐史, 澤井 孝宏, 長谷川 稔: 片側性に多発性皮下硬結を認めたサルコイドーシスの1例, 第45回日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会総会学術大会, 出雲市, 201511, 抄録集, 501
- 1533059** 高嶋 渉, 知野 剛直, 徳力 篤, 尾山 徳孝, 長谷川 稔: 発症時に自己免疫水疱症が疑われた水疱症ループスエリテマトーデスの1例, 第43回日本臨床免疫学会総会, 神戸市, 201510, 抄録集, 371
- 1533060** 高嶋 渉, 知野 剛直, 徳力 篤, 長谷川 稔: 水疱性ループスエリテマトーデスと考えられた1例, 第114回日本皮膚科学会総会, 横浜市, 201505, 抄録, 922, 201505
- 1533061** 知野 剛直, 飯野 志郎, 高嶋 渉, 徳力 篤, 長谷川 稔, 大越 忠和, 今村 好章, 高橋 秀典, 清原 隆宏: 診断に苦慮した膿疱型壊疽性膿皮症の1例, 第114回日本皮膚科学会総会, 横浜市, 201505, 抄録, 924, 201505
- 1533062** 高嶋 渉, 知野 剛直, 徳力 篤, 長谷川 稔: 水疱性ループスエリテマトーデスと考えられた1例ポスター24, 第114回日本皮膚科学会総会, 横浜市, 201505, 抄録, 922, 201505

e. 一般講演

f. その他

(3) 国内学会(地方レベル)

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演(口演)

- 1533063** 宇都宮 夏子, 馬場 夏希, 飯野 志郎, 井戸 英樹, 徳力 篤, 長谷川 稔, 小阪 泰啓: 中指に生じたA群 β 溶連菌による壊死性軟部組織感染症の1例, 日本皮膚科学会北陸地方会第446回例会, 福井市, 201506
- 1533064** 井戸 英樹, 徳力 篤, 長谷川 稔, 佐藤 英, 清原 隆宏: レーザー外来開設4年間の治療経験, 第121回福井県皮膚科医会例会, 福井市, 201505
- 1533065** 宇都宮 夏子, 高嶋 渉, 知野 剛直, 山口 由佳, 宮永 美紀, 尾山 徳孝, 徳力 篤, 長谷川 稔: Sublamina densa型線状IgA水疱症の1例, 日本皮膚科学会北陸地方会第448回例会, 福井市, 201512
- 1533066** 宇都宮 慧, 小泉 遼, 高嶋 渉, 徳力 篤, 長谷川 稔: 高度の嚙下障害を伴った皮膚筋炎の1例, 日本皮膚科学会北陸地方会第448回例会, 福井市, 201512
- 1533067** 高嶋 渉: 「尋常性乾癬治療剤ドボペット軟膏について」, 日本皮膚科学会北陸地方会第447回例会, 福井市, 201509
- 1533068** 宇都宮 慧, 馬場 夏希, 高嶋 渉, 飯野 志郎, 徳力 篤, 長谷川 稔: 亀頭部に棘細胞癌の1例, 日本皮膚科学会北陸地方会第446回例会, 福井市, 201506
- 1533069** 小泉 遼, 宇都宮 慧, 飯野 志郎, 長谷川 稔, 木村 洋平, 成田 憲彦, 小林 泰三: イピリムマブ投与後に急性喉頭蓋炎を生じた進行期直腸悪性黒色腫の1例, 日本皮膚科学会北陸地方会第449回例会, 金沢市, 201602
- 1533070** 山口 由佳, 飯野 志郎, 尾山 徳孝, 徳力 篤, 長谷川 稔: 胸部に生じた皮膚気管支原性?胞の1例, 日本皮膚科学会北陸地方会第449回例会, 金沢市, 201602
- 1533071** 山口 由佳, 飯野 志郎, 宇都宮 慧, 馬場 夏希, 尾山 徳孝, 徳力 篤, 長谷川 稔: 瘻痕上に生じた被角血管腫の2例, 日本皮膚科学会北陸地方会第448回例会, 福井市, 201512
- 1533072** 山口 由佳, 飯野 志郎, 宇都宮 慧, 尾山 典孝, 徳力 篤, 長谷川 稔: 脂漏性角化症から発生したと考えられた有棘細胞癌の1例, 第122回福井県皮膚科医会例会, 福井市, 201511
- 1533073** 笠松 宏至, 飯野 志郎, 山口 由佳, 徳力 篤, 長谷川 稔, 酒井 康弘, 今村 好章, 朝日 智子, 澤井 孝宏: 放射線治療が奏効した内眼角部 adamantionid basal cell carcinomaの1例, 日本皮膚科学会北陸地方会第447回例会, 福井市, 201509
- 1533074** 馬場 夏希, 飯野 志郎, 徳力 篤, 長谷川 稔, 竹内 文, 酒井 康弘, 今村 好章, 木村 朋子, 石黒 和守, 尾山 徳孝: Vascular eccrine spiradenomaの2例, 日本皮膚科学会北陸地方会第446回例会, 福井市, 201506

業績一覧

- 1533075 笠松 宏至, 飯野 志郎, 小泉 遼, 尾山 徳孝, 徳力 篤, 長谷川 稔: 放射線照射部位に基底細胞癌が多発した1例, 日本皮膚科学会北陸地方会第449回例会, 金沢市, 201602
- 1533076 宇都宮 夏子, 尾山 徳孝, 知野 剛直, 徳力 篤, 長谷川 稔, 酒井 康弘, 今村 好章, 神永 紀子: コレステリン肉芽腫を合併した発疹性毳毛?腫の1例, 日本皮膚科学会北陸地方会第447回例会, 福井市, 201509
- 1533077 小泉 遼, 尾山 徳孝, 長谷川 稔, 早川 幸紀: 表在血管に沿ってケプネル現象を呈した皮膚サルコイドーシスの1例, 第79回日本皮膚科学会東京・東部支部合同学術大会, 東京都, 201602, 抄録集, 190
- 1533078 長谷川 稔, 尾山 徳孝: 皮下膿瘍を生じたクモ咬傷の1例, 第443回京滋地方会-札幌健治教授就任記念地方会, 京都市, 201512
- 1533079 井戸 英樹, 笠松 宏至, 小泉 遼, 飯野 志郎, 徳力 篤, 長谷川 稔, 早川 幸紀: 長期罹患後に手術療法が奏効したリポイド類壊死症の1例, 第66回日本皮膚科学会中部支部学術大会, 神戸市, 201510, 抄録集, 141, 201510
- 1533080 高嶋 渉, 宮永 美紀, 徳力 篤, 尾山 徳孝, 長谷川 稔, 新家 裕朗, 酒巻 一平, 山内 高弘: 白血病の経過中に発症した壊疽性膿皮症の1例, 第66回日本皮膚科学会中部支部学術大会, 神戸市, 201510, 抄録集, 139, 201510
- 1533081 馬場 夏希, 宇都宮 慧, 飯野 志郎, 徳力 篤, 長谷川 稔, 成田 憲彦: 頭頂部悪性黒色腫の1例, 第66回日本皮膚科学会中部支部学術大会, 神戸市, 201510, 抄録集, 129, 201510

d. 一般講演 (ポスター)

e. 一般講演

f. その他

- 1533082 井戸 英樹: 局所療法(ドレッシング材・外用剤), 2016年日本褥瘡学会公認第1回中部地方教育セミナー, 福井市, 201603

(4) その他の研究会・集会

a. 招待・特別講演等

- 1533083 長谷川 稔: 「全身性強皮症の血管病変」, 第6回熊本肺高血圧症研究会, 熊本市, 201511
- 1533084 長谷川 稔: 「膠原病の診断と治療」, 第33回和歌山CLINICAL DERMA研究会, 和歌山市, 201511
- 1533085 長谷川 稔: 「福井大学皮膚科の研究状況」, 第6回皮膚科最新医療研究会, 大阪市, 201510
- 1533086 長谷川 稔: 「乾癬治療-皮膚だけをターゲットにしてよいのか?」, 名大 Psoriasis Conference, 名古屋市, 201506
- 1533087 長谷川 稔: 膠原病の皮膚症状: 痒みのコントロールも含めて, 中信アレルギー疾患懇話会, 松本市, 201505
- 1533088 長谷川 稔: 難治性皮膚潰瘍にどう対処するか?, 横浜市皮膚科医学会学術講演会, 横浜市, 201504

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演 (口演)

- 1533089 高嶋 渉: 「水疱性ループスエリテマトーデスの1例」, 福井G10フォーラム, 福井市, 201509
- 1533090 徳力 篤: 「乾癬モデルマウスにおけるデルモカインβ/γの機能解析」, 第6回皮膚科最新医療研究会, 大阪市, 201510
- 1533091 井戸 英樹, 徳力 篤, 長谷川 稔, 佐藤 英, 清原 隆宏: レーザー外来開設4年間の治療経験, 第121回福井県皮膚科医学会例会, 福井市, 201505
- 1533092 小泉 遼: 「TNF阻害薬投与中に膿疱性乾癬様の症状を呈した1例」, 第6回福井の乾癬を考える会, 福井県福井市, 201508

d. 一般講演 (ポスター)

e. 一般講演

f. その他

(C) 特許等

区分	内容 (発明の名称)	発明者又は考案者

(D) その他業績

4. グラント取得

(A) 科研費・研究助成金等

区分	プロジェクト名	研究課題名	代表者名	分担者名	期間 (年度)	金額 (配分額)
区分	研究種目	課題名	代表者名	分担者名	期間 (年度)	金額 (配分額)
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C) (一般)	抗CX3CL1中和抗体を用いた全身性強皮症の治療法の開発	長谷川 稔		2015	1690000
文部科学省科学研究費補助金	若手研究(B)	皮膚創傷形成から治癒過程におけるデルモカインβの役割	飯野 志郎		2015	910000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	胎仔期循環血液内の間葉系幹細胞を利用した遺伝性・難治性皮膚疾患の新規治療法の確立	知野 剛直		2015	1170000

(B) 奨学寄附金

受入件数	22
受入金額	7514657

5. その他の研究関連活動

(A) 学会開催等

区分	主催・共催の別	学会名	開催日	開催地
国内学会(地方レベル)	主催者	日本皮膚科学北陸地方会第447回例会福井分科会	20150913-20150913	福井市

(B) 学会の所属

学会の名称	役職	氏名
日本皮膚科学会	代議員	長谷川 稔
日本研究皮膚科学会	理事	長谷川 稔
日本皮膚免疫アレルギー学会	理事	長谷川 稔
日本乾癬学会	評議員	長谷川 稔
日本臨床免疫学会	評議員	長谷川 稔
日本免疫学会	一般会員(一般会員)	長谷川 稔
日本リウマチ学会	一般会員(一般会員)	長谷川 稔
強皮症研究会	監事	長谷川 稔
米国リウマチ学会	一般会員(一般会員)	長谷川 稔
日本皮膚外科学会	一般会員	清原 隆宏
日本皮膚悪性腫瘍学会	皮膚悪性腫瘍ガイドライン作成委員(一般会員)	清原 隆宏
日本皮膚科学会	一般会員	清原 隆宏
日本褥瘡学会	一般会員	井戸 敏子
日本美容皮膚科学会	一般会員	井戸 敏子
日本アレルギー学会	一般会員	井戸 敏子
日本臨床皮膚科学会	一般会員	井戸 敏子
日本在宅褥瘡創傷ケア推進協会	コアスタッフ(その他)	高橋 秀典
日本性感染症学会	一般会員	高橋 秀典
日本褥瘡学会	評議員	高橋 秀典
日本医真菌学会	一般会員	高橋 秀典
日本皮膚科学会	一般会員	高橋 秀典
日本皮膚外科学会	一般会員	川見 健也
日本皮膚悪性腫瘍学会	一般会員	川見 健也
日本皮膚病理組織学会	一般会員	川見 健也
日本形成外科学会	一般会員	安田 聖人
日本臨床免疫学会	一般会員	高嶋 渉
日本皮膚悪性腫瘍学会	一般会員	高嶋 渉
日本皮膚病理組織学会	一般会員	高嶋 渉
日本皮膚科学会	一般会員	高嶋 渉
日本医真菌学会	一般会員	高嶋 渉
日本皮膚科学会中部支部	一般会員	高嶋 渉
日本皮膚科学会北陸地方会	一般会員	高嶋 渉
日本皮膚病理組織学会	一般会員	西川 美都子
日本皮膚科学会	一般会員	西川 美都子

業績一覧

(C) 座長

国内学会	学会名	氏名
シンポジウム等	第39回皮膚脈管・膠原病研究会	長谷川 稔
シンポジウム等	第114回日本皮膚科学会総会	長谷川 稔
一般講演 (口演)	第114回日本皮膚科学会総会	長谷川 稔
一般講演 (口演)	第63回「北陸臨床免疫・症例検討/研究	長谷川 稔
一般講演 (口演)	日本皮膚科学会北陸地方会第446回例会	長谷川 稔
一般講演 (口演)	日本皮膚科学会北陸地方会第447回例会	長谷川 稔
シンポジウム等	第45回日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会総会学術大会	長谷川 稔
一般講演 (口演)	日本皮膚科学会北陸地方会第448回例会	長谷川 稔
シンポジウム等	厚生労働省「強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドライン作成事業」研究班2015年度班会議・厚生労働省「強皮症の病態解明および革新的医薬品開発の研究」研究班2015年度班会議・第19回強皮症研究会議 合同会議	長谷川 稔
一般講演	第12回日本褥瘡学会中部地方会学術集会	高橋 秀典
一般講演 (口演)	第66回日本皮膚科学会中部支部学術大会	徳力 篤
一般講演 (口演)	日本皮膚科学会北陸地方会第449回例会	徳力 篤

(D) 学術雑誌等の編集

学術雑誌等の名称	委員長 (主査) ・委員	氏名
Journal of Dermatology Research & Therapy	委員	長谷川 稔
Journal of Dermatology	委員	長谷川 稔
Journal of Dermatological Science	委員	長谷川 稔
Arthritis&Rheumatology		長谷川 稔
Br J Dermatol.		長谷川 稔
Clin Exp Immunol.		長谷川 稔
Dermatol Clinics		長谷川 稔
Eur J Dermatol.		長谷川 稔
Exp Dermatol.		長谷川 稔
Intern Med.		長谷川 稔
J Dermatol.		長谷川 稔
J Rheumatol.		長谷川 稔
JEADV		長谷川 稔
Microvasc Res.		長谷川 稔
Mod Rheumatol.		長谷川 稔
Rheumatol Int.		長谷川 稔
Rheumatology (Oxford)		長谷川 稔
RMD Open.		長谷川 稔
西日本皮膚科		長谷川 稔
日本皮膚科学会雑誌		長谷川 稔

(E) その他

- 1533093 井戸 英樹: “元気で医こう” あぎのレーザー治療 (日刊県民福井), 20150517
- 1533094 高嶋 渉: おかえりホームドクター (福井テレビ), 「夏の家や山で虫に刺された時の応急処置について」, 20150706
- 1533095 高嶋 渉: おじゃまテレ 健康一番 (FBC放送), 「水虫の予防」, 20150512
- 1533096 徳力 篤: “元気で医こう” 皮膚病「乾癬」 (日刊県民福井), 20150419
- 1533097 宮永 美紀: おかえりホームドクター (福井テレビ), 「うおのめとたこについて」, 20160222
- 1533098 長谷川 稔: “元気で医こう” 全身性強皮症 (日刊県民福井), 20151004